

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24663報)

2023年 5月 6日 14時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 田南 達也
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記のとおりお知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [5月6日11時00分現在] ・サブドレン等 分析結果 [採取日 5月5日] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 5月5日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 5月5日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 5月3日、5日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 5月5日] <p>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</p> <p>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</p> <p>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</p> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクCの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、5月7日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 5月2日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ
2023年5月6日 11:00現在

2023年5月6日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.4 m ³ /h CS系: 1.4 m ³ /h	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 2.0 m ³ /h	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 18.8 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 17.1 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 18.2 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 26.7 °C RPV温度 (TE-2-3-69F): 30.2 °C	スカーション上部温度 (TE-2-3-69F1): 22.5 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 20.0 °C	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 18.2 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 18.2 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 27.1 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HM-12-16B (TE-16-114G#1): 27.1 °C	PCV温度 (TE-16-002): 19.8 °C 格納容器空欄機給気温度 (TE-16-114F#1): 20.3 °C	
原子炉格納容器 圧力	0.38 kPa.g	2.62 kPa.g	0.48 kPa.g	
窒素注入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.27 Nm ³ /h (JP-A): 15.43 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	RPV-A: 6.54 Nm ³ /h RPV-B: 6.48 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	RPV-A: 8.27 Nm ³ /h RPV-B: 7.79 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	19.4 m ³ /h	18.19 Nm ³ /h	22.46 Nm ³ /h	
原子炉格納容器 水系濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol%	A系: 0.00 vol% B系: 0.02 vol%	A系: 0.11 vol% B系: 0.10 vol%	
原子炉格納容器 放射能濃度 Xe135) ※2	A系: 指示値 検出限界値 1.01E-03 Bq/cm ³ 4.23E-04 B系: 指示値 検出限界値 1.41E-03 Bq/cm ³ 3.52E-04	A系: 指示値 検出限界値 1.2E-01 Bq/cm ³ ND B系: 指示値 検出限界値 1.2E-01 Bq/cm ³ ND	A系: 指示値 検出限界値 1.9E-01 Bq/cm ³ ND B系: 指示値 検出限界値 1.9E-01 Bq/cm ³ ND	
使用済燃料プール 水温度	24.6 °C	23.9 °C	※5	※5
FPC及び炉内 2水位	3.27 m	3.66 m	3.44 m	65.3 X100mm

【計測値に関する事項】
※1: 原子炉格納容器内の放射能濃度は、放射能計測器により測定される。計測精度は、計測器により測定される放射能濃度の誤差に依存する。
※2: 放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を測定するための放射能計測器により測定される。計測精度は、計測器により測定される放射能濃度の誤差に依存する。
※3: 放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を測定するための放射能計測器により測定される。計測精度は、計測器により測定される放射能濃度の誤差に依存する。
※4: 放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を測定するための放射能計測器により測定される。計測精度は、計測器により測定される放射能濃度の誤差に依存する。
※5: 放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を測定するための放射能計測器により測定される。計測精度は、計測器により測定される放射能濃度の誤差に依存する。

【重要事項】
本計測値は、計測器の精度やその後の環境変化の影響を受け、通常の計測値と異なる場合があります。計測値の信頼性を確保するため、計測器の定期的な校正とメンテナンスを実施する必要があります。また、計測値の異常な変動や急激な変化は、計測器の故障や環境変化の兆候を示している可能性があります。計測値の信頼性を確保するため、計測器の定期的な校正とメンテナンスを実施する必要があります。

2023年5月6日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進カンパニー

サブドレン等 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機サブドレン	2023/05/05 06:35	< 6.2E+00	< 4.9E+00	1.0E+02
2号機サブドレン	2023/05/05 06:45	< 2.0E+01	7.5E+01	3.8E+03
3号機サブドレン	2023/05/05 07:04	< 3.8E+00	< 5.0E+00	< 4.7E+00
4号機サブドレン	2023/05/05 06:55	< 4.6E+00	< 5.4E+00	< 4.2E+00
5号機サブドレン	2023/05/05 08:11	< 5.2E+00	< 5.5E+00	< 4.6E+00
6号機サブドレン	2023/05/05 08:01	< 2.7E+00	< 4.2E+00	< 4.9E+00
管内深井戸	—	—	—	—

・核種の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.OE±Oとは、 $0.0 \times 10^{±0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

2023年5月6日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2023/05/05 06:55	< 4.6E+00	< 5.4E+00	< 4.2E+00
プロセス主建屋北東	2023/05/05 07:03	< 4.2E+00	< 4.2E+00	< 4.1E+00
プロセス主建屋南東	2023/05/05 07:08	< 4.8E+00	< 4.2E+00	< 4.4E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2023/05/05 07:33	< 4.6E+00	< 4.9E+00	< 4.1E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2023/05/05 07:28	< 3.6E+00	< 5.4E+00	3.4E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2023/05/05 07:37	< 4.1E+00	< 4.5E+00	< 4.8E+00
サイトバンカ建屋南東	2023/05/05 07:23	< 4.4E+00	< 4.2E+00	< 4.9E+00

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・0.0E+00とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

2023年5月6日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2023/05/05 07:31	< 3.4E+00	< 5.1E-01	1.5E+00
物揚場排水路	2023/05/05 07:26	< 3.4E+00	< 7.7E-01	< 6.5E-01
K排水路	2023/05/05 06:00	7.1E+00	< 6.0E-01	3.8E+00
BC排水路	2023/05/05 06:00	< 3.1E+00	< 5.2E-01	< 4.3E-01
D排水路	2023/05/05 07:36	< 3.4E+00	< 6.8E-01	< 7.1E-01
5,6号機排水路*1	—	—	—	—

・検査毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり)は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。

・(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読み。

・採取当日の降雨量は0 mm

・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

2023年5月6日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	その他放射性核種					Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)
			Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)			
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1	2023/05/05 07:55	1.8E+04	< 2.6E-01	< 2.5E-01	< 2.5E+00	< 9.2E-01	< 3.2E-01	3.7E+00	-	
No.1-6	2023/05/05 07:24	1.6E+06	< 7.1E+01	< 6.9E+01	< 3.7E+03	< 1.9E+03	9.7E+03	4.2E+05	-	
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-9 注1	2023/05/05 08:05	2.7E+01	-	-	-	-	-	-	9.5E+01	
No.1-11	2023/05/05 08:00	2.6E+02	< 3.4E-01	< 3.7E-01	< 2.9E+00	< 1.3E+00	< 4.0E-01	4.1E+00	-	
No.1-12	2023/05/05 07:40	4.0E+02	< 9.7E-01	< 1.4E+00	< 1.2E+01	< 6.4E+00	3.2E+00	1.2E+02	-	
No.1-14	2023/05/05 07:18	3.4E+04	< 7.2E-01	< 4.2E-01	< 7.8E+00	< 3.2E+00	< 9.0E-01	2.9E+01	-	
No.1-16	2023/05/05 07:45	4.5E+04	< 3.2E-01	< 4.2E-01	< 4.2E+00	< 1.9E+00	6.0E-01	2.2E+01	-	
No.1-17	2023/05/05 07:50	1.6E+05	< 4.2E-01	< 3.2E-01	< 4.9E+00	< 1.9E+00	< 5.7E-01	2.0E+00	-	

注1 No.1-9は、採出開始後経過時間(ND)を要す。
注2 No.1-9は、採出開始後経過時間(ND)を要す。
注3 No.1-9は、採出開始後経過時間(ND)を要す。

・核種別の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
・不符号 (<)：小なり
・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
・O.E.H.O.とは、 0.0×10^0 であることを意味する。
例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で 31 、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で 3.1 、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で 0.31 と読み取る。
※1 No.1-9は、採水器による検出であるため、測定は実施せず。全βは参考値としてのみ表示に運用。



護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目							塩素 (ppm)
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	
1,2号機ウエルホライント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-5 ※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	2023/05/05 08:10	6.6E+02	< 3.9E-01	< 3.7E-01	< 3.8E+00	< 1.4E+00	< 4.0E-01	1.2E+01	-
No.2-7	2023/05/05 08:15	3.7E+02	< 3.6E-01	< 3.5E-01	< 3.2E+00	< 1.4E+00	< 4.4E-01	7.5E+00	5.4E+02
No.2-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2,3号機ウエル 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5 ※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3,4号機ウエル 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・核種別の半減期：Mn-54(初310日)、Co-60(85年)、Ru-106(初370日)、Sb-125(初370日)、Cs-134(初2年)、Cs-137(初30年)

・不等号 (< : 小回り) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および制限中止の項目は「-」と記す。

・O.E.F.Oとは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読み、

※2 No.2-5、No.3-5は、検水器による検出であるため、(測定)は実施せず。主計は参考値としての記録に測定。

8/11

2023年5月6日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目							塩素 (ppm)			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)		Cs-137 (Bq/L)		
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9 *1	2023/05/03 07:28	2.2E+01	7.8E+02	-	-	-	-	-	-	-	-	9.2E+01
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・検出限界値: H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sr-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不検出 (<: 未満) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・C.O.E+0などは、 0.0×10^0 であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読み。

・H-3以外の項目は既に報告済み。

※1 No.1-9は、採水器による採取のため、汚濁は実態せず。全βは参考値としてご通知に請。

9/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目							塩素 (ppm)				
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)		Cs-137 (Bq/L)			
1,2号観測ポイント 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-2		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-3		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-5 ※2		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-6	2023/05/03 07:20	6.4E+02	1.8E+03	< 2.0E-01	< 2.4E-01	< 2.4E+00	< 1.0E+00	3.8E-01	1.5E+01	—	—	—	—
No.2-7	2023/05/03 07:23	3.5E+02	1.7E+03	< 2.0E-01	< 2.6E-01	< 3.7E+00	< 1.2E+00	5.6E-01	1.1E+01	5.4E+02	—	—	—
No.2-8		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2,3号観測ポイント 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-2		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-3		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-4		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-5 ※1		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3,4号観測ポイント 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

・検出限界値: H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sr-125(約30年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不番号 (< ; 小送り) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・C.O.E.F.Oとは、 0.0×10^0 であることを意味する。

・例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で 31 、 $3.1E+00E0.1 \times 10^0$ は 0.31 と読み取ります。

・H-3の検出限はお知らせ済み。

※2 No.2-5、No.3-5は、採取器による採取であるため、測定は実施せず。全βは参考値としての環境に測定。

2023年5月6日

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2023/05/05 07:46	—	< 9.8E-01	< 9.6E-01
1F 6号機取水口前	2023/05/05 07:41	< 1.4E+01	< 3.4E-01	≤ 2.7E-01
1F 物揚場前	2023/05/05 07:21	< 1.4E+01	< 3.1E-01	3.0E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2023/05/05 07:16	< 1.4E+01	< 3.7E-01	1.4E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (返水壁前)	2023/05/05 07:11	< 1.4E+01	< 3.5E-01	4.5E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2023/05/05 06:21	1.1E+01	< 7.1E-01	< 7.2E-01
1F 港湾口 (T-Q)	2023/05/05 06:28	< 1.4E+01	< 3.2E-01	< 3.3E-01
1F 港湾中央	2023/05/05 06:24	< 1.4E+01	< 3.3E-01	5.5E-01
1F 港湾内東側	2023/05/05 06:26	1.7E+01	< 4.0E-01	3.8E-01
1F 港湾内西側	2023/05/05 06:22	1.4E+01	< 3.5E-01	3.7E-01
1F 港湾内北側	2023/05/05 06:20	< 1.4E+01	< 3.0E-01	< 3.1E-01
1F 港湾内南側	2023/05/05 06:30	< 1.4E+01	< 3.3E-01	3.1E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン ^{*1}			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不符号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2023年5月6日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目				
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他 γ核種
一時貯水タンク (サンブルタンク)	C 2023/05/02 08:10	1,030	東京電力	< 6.3E-01	8.2E+02	< 8.6E-01	< 8.6E-01	検出なし
			東北緑化環境保全 (株)	4.2E-01	8.8E+02	< 7.3E-01	< 7.0E-01	検出なし
運用目標				3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと※2
告示濃度限度※3				/	6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	/
WHO飲料水水质ガイドライン				/	1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	/

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと (天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

